

公 共

2026年度施行

見積用

管路施設ストックマネジメント調査診断委託 実施設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

芽室町

委託設計説明書

1. 委託名称 管路施設ストックマネジメントカメラ調査診断委託
2. 委託概要 管路施設調査工 一式，簡易診断 一式
3. 委託期間 令和 8 年 7 月 27 日 ～ 令和 9 年 2 月 26 日
4. 仕様書 別紙参照

管路施設ストックマネジメントカメラ調査診断委託 仕様書

I 総 則

1.1 業務委託の目的

本業務は、芽室町において下水道管路施設のストックマネジメント計画を策定するにあたり、必要なカメラ調査および簡易診断を行うことを目的とする。

1.2 業務の概要

- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査
- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査結果簡易診断

1.3 業務委託の場所等

- ・ 場 所 : 芽室町 公共下水道区域
- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査
 - (1) $\phi 800$ L= 804.92 m
 - (2) マンホール等巡視・点検 L= 804.92 m
- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 マンホール調査
 - (1) マンホール 11 基
- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 管口カメラ調査
 - (1) マンホール 156 基
- ・ 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査結果簡易診断 1 式

1.4 業務委託の基本条件

以下に準拠する。

- ・ 下水道法
- ・ スtockマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化支援制度に関する手引き
- ・ 下水道維持管理指針（社団法人日本下水道協会）
- ・ 北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書
- ・ 芽室町諸規定及び諸規則
- ・ 芽室町長寿命化基本構想
- ・ 芽室町下水道施設ストックマネジメント計画
- ・ その他関係法令並びに諸規則等

1.5 業務委託の作業項目、内容

1.5-1 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査

(1) 管路施設調査

対象箇所の本管のカメラ調査、管路施設が埋設されている地表やマンホール内部・マンホール蓋等を目視調査による巡視・点検を行う。

(2) 報告書作成

管路施設調査結果に基づいて報告書を作成する。

1.5-2 管路施設ストックマネジメント計画 管口カメラ調査

(1) 管路施設調査

対象箇所の本管の管口カメラ調査、管路施設が埋設されている地表やマンホール内部・マンホール蓋等を目視調査による巡視・点検を行う。

(2) 報告書作成

管路施設調査結果に基づいて報告書を作成する。

1.5-3 管路施設ストックマネジメント計画 カメラ調査結果簡易診断

(1) 管路カメラ調査（本管）の判定

対象となる管路カメラ調査（本管）の調査結果に対して、ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)や下水道維持管理指針及び芽室町下水道管路長寿命化基本構想等の関連する手引きや指針に基づき判定を行う。

(2) 目視調査（マンホール内部、マンホール蓋等）の判定

対象となる目視調査（マンホール内部、マンホール蓋等）の調査結果に対して、ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)や下水道維持管理指針及び芽室町下水道管路長寿命化基本構想等の関連する手引きや指針に基づき判定を行う。

(3) 報告書作成

本業務における検討内容について報告書にとりまとめる。

1.6 提出図書

提出図書は下記の通りとし、遅滞なく提出しなければならない。

名 称	部数	備考
着手届	1	契約後速やかに
工程表	1	契約後速やかに
業務処理責任者及び主任技術者届	1	契約後速やかに
管理技術者届	1	契約後速やかに
業務計画書（調査計画、職務分担表、緊急連絡	1	契約後速やかに

届、有資格者届、その他)		
打合せ協議簿	1	指示・承諾・協議・検査・確認時
完了届	1	完成後速やかに
成果品 ○管路施設カメラ調査結果報告書 ○管路施設カメラ調査結果簡易診断報告書 (管路施設カメラ調査結果各種データ、関連資料集、その他)	2	完成後速やかに
完成届	1	完成後速やかに
受渡書	1	完成検査後速やかに
その他	1	その他担当員が求めたもの

Ⅱ 管路ストックマネジメント計画 カメラ調査

1 管路施設調査

第1章 総則

1.1 適用範囲

- (1) 芽室町が管理する下水道管路施設内のカメラ調査（以下、「調査」という。）に適用する。
- (2) 本仕様書及び図面（以下、「設計図書」という。）に疑問が生じた場合は、芽室町と受託者との協議により決定する。

1.2 成果の所有等

調査に伴って得られた仕様及び成果は芽室町の所有とする。また、調査の成果等は芽室町の承諾なしに公表しないこと。

1.3 用語の定義

本仕様書において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 指示とは、芽室町の発議により担当員が受託者に対し担当員の所掌事務に関する方針、基準、計画等を示し実施させることをいう。
- (2) 承諾とは、受託者の発議により受託者が担当員に報告し、担当員が了解をすることをいう。
- (3) 協議とは、担当員と受託者が対等の立場で合議することをいう。

1.4 法令の遵守

- (1) 受託者は、調査を実施するにあたり、次に掲げる法令・規則等を遵守しなければならない。

- ①労働基準法
- ②労働者災害補償保険法
- ③消防法
- ④緊急失業対策法
- ⑤建設業法
- ⑥建築業法
- ⑦毒物及び劇物取締法
- ⑧道路法
- ⑨下水道法
- ⑩中小企業退職金共済法

- ⑪道路交通法
- ⑫河川法
- ⑬電気事業法
- ⑭公害対策基本法
- ⑮騒音規制法
- ⑯廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ⑰水質汚濁防止法
- ⑱酸素欠乏症等防止規則
- ⑲労働安全衛生法
- ⑳振動規制法

(2) 使用人に対する諸法令等の運用・適用は、受託者の負担と責任のもとで行うこと。

なお、建設業退職金共済組合及び建設労災補償共済制度に伴う運用については、受託者の責任において行うこと。

1.6. 官公署への手続き

受託者は、契約締結後、速やかに関係官公署等に調査必要な道路使用、交通の制限等の届出、または許可申請を行い、その許可等をうけること。

1.7. 現場体制

- (1) 受託者は、契約締結後、速やかに業務処理責任者及び管理技術者並びに経験を有する主任技術者を定めるとともに、現場に主任技術者を常駐させて、所定の業務に従事させること。
- (2) 管路内の調査を行う場合は、酸素欠乏危険作業主任者を定め、現場に常駐させ所定の業務に従事させること。
- (3) 受託者は、善良な調査員を選定し、秩序正しい調査を行わせ、かつ、熟練を要する調査には相当の経験を有する者を従事させること。
- (4) 受託者は、適当な調査の進捗を図るとともに、そのために十分な数の調査員を配置すること。
- (5) 夜間作業が伴う場合は、安全に注意し十分な数の保安要員及び交通誘導員を配置すること。

1.8 地先住民等との協調

- (1) 受託者は、調査を実施するにあたり地先住民等に調査内容を説明し、理解と協力を得ること。
- (2) 受託者は、地先住民等からの要望もしくは地先住民等と交渉があった時は、遅滞なく担当員に申し出て、その指示を受け、誠意をもって対応しその結果を速やかに報告すること。
- (3) 受託者は、いかなる理由があっても、地先住民からの報酬、または手数料等を受け取つ

てはならない。

1.9 損害賠償及び補償

- (1) 受託者は、下水道施設に損害を与えた時は、ただちに担当員に報告し、その指示を受けるとともに、速やかに原状復旧すること。
- (2) 受託者は、調査にあたり、万一、注意義務を怠ったことにより第三者に損害を与えた時は、その復旧及び賠償に全責任を負うこと。

1.10. 工程管理

- (1) 受託者は、あらかじめ提出した工程表に従い工程管理を適正に行うこと。また、排水量の多い特定工場に影響する管路を調査する際には、排水量の少ない時間帯に調査すること。
- (2) 予定の工程表と実施とに差が出た場合は、必要な措置を講じて調査に円滑な遂行を図ること。
- (3) 工程の都合上、履行期間に含まれない日（祝日、休日等）に調査を行う必要がある場合は、予め調査内容や調査時間等について担当員の承諾を得ること。

1.11. 調査記録写真

受託者は、次の各号に従って調査記録写真を撮影し、調査完了時には工種ごと工程順ごとに編集したものを調査記録写真帳に整理し、完了届に添付して担当員に提出すること。

- (1) 撮影は、原則、調査延長5m程度に対して1箇所3枚（直視1枚、側視2枚）程度とする。
また、カメラなど使用機械の設置状況、酸素及び硫化水素濃度等の測定状況、管路内洗浄状況のほか、担当員が指定する内容について行うこと。
- (2) 管きょ内からの撮影が困難な場合は、他の適切な方法で撮影を行う。
- (3) 写真には、件名、撮影場所、撮影対象を明記して撮影すること。
- (4) 写真は原則としてカラー撮影とし、その大きさは原則Eサイズ版とすること。

第2章 安全管理

2.1 一般事項

- (1) 受託者は、公衆災害、労働災害及び物件損害等の未然防止に努め、「労働安全衛生法」、「酸素欠乏症等防止規則」及び「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」等の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分に講ずること。
- (2) 作業中は、気象情報に十分注意をはらい、豪雨出水、地震等が発生した場合はただちに対処できるような対策を講じておくこと。
- (3) 事故防止を図るため、安全管理については「業務計画書」に明示し、受託者の責任において実施すること。

2.2 安全教育

- (1) 受託者は、作業に従事する者に対して定期的に該当作業に関する安全教育を行い、作業者の安全意識の向上を図ること。
- (2) 受託者は、厚生労働省で定める酸素欠乏危険作業にかかわる業務について特別な教育を行うこと。

2.3 労働災害防止

- (1) 現場の作業環境は、常に良好な状態に保ち、機械器具その他の整備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図ること。
- (2) マンホール、管きよ等に入入りし、又はこれら内部で作業を行う場合は、厚生労働省で定める酸素欠乏危険作業主任者の指示に従い、酸素欠乏空気、有毒ガス等の有無を作業開始前と作業中は常時検査し、換気等事故防止に必要な措置を講ずるとともに、呼吸用具保護器具等を常備すること。

なお、酸素及び硫化水素の測定結果は、記録、保存し担当員が提出を求めた場合はその指示に従うこと。

- (3) 作業中、酸素欠乏空気や有毒ガス等が発生した場合は、ただちに必要な措置を講ずるとともに、担当員及びその他関係機関に緊急連絡を行い、その指示により適切な措置を講ずること。
- (4) 資格を必要とする諸機械を取り扱う場合は、必ず有資格者をあて、かつ、誘導員を配置すること。

2.4 公衆災害防止

- (1) 作業中は、常時作業現場周辺の移住者及び通行人の安全並びに交通、流水等の円滑な処理に努め、現場の保安対策を十分講ずること。
- (2) 作業現場には、「下水道管路内調査工」と明示した標識を設けるとともに、夜間には十分な照明及び保安等を施し、通行人及び車両交通等の安全の確保に努めること。
- (3) 作業区域内には、交通整理員を配置し、車両及び歩行者の通行の誘導及び整理を行うこと。
- (4) 作業に伴う交通処理及び保安対策は、この仕様書に定めるところによるほか、関係官公署の指示に従い適切に行うこと。
- (5) 前項の対策に関する具体的事項については、関係機関と十分協議して定め、協議結果を担当員に提出すること。

2.5 その他

- (1) 受託者は、作業にあたって下水道施設又はガス管の付近では接待に裸火を使用しないこ

と。

- (2) 万一事故が発生した時は、緊急連絡体制に従い、ただちに担当員及び関係官公署に報告するとともに、速やかに必要な措置を講ずること。
- (3) 前項に通報後、受託者は事故の原因、経過及び被害内容を調査の上、その結果を書面によりただちに芽室町に届け出ること。

第3章 カメラ調査工

3.1 一般事項

- (1) カメラ調査、管路施設が埋設されている地表やマンホール内部・マンホール蓋等を視調査による巡視・点検を行う。
- (2) 受託者は、調査計画書に調査箇所、調査順序を定め、事前に報告したうえで、調査に着手すること。
- (3) 調査にあたっては、管口を傷めないようにガイドローラなどを使用するなど、必要な保護措置を講じ、下水道施設に損傷を与えないように十分留意すること。
- (4) 調査にあたり、仮締め切りを必要とする場合は、担当員の承諾を得ること。この仮締め切りは、上流に溢水が起こらない構造で、かつ、調査中の安全が確保されるものとする。ただし、上流に溢水が生じる恐れがあるときは、ただちにこれを撤去すること。
- (5) 受託者は、調査にあたり、騒音規制法、振動規制法及び公害防止関係法令に定める規制基準を遵守するために必要な措置を講ずること。
- (6) 受託者が担当員の指示に反して、調査を続行した場合及び担当員が事故防止上危険と判断した場合は、調査の一時中止を命ずることがある。
- (7) 調査にあたり、道路その他の工作物を汚損させないこと。万一、汚損させた時は、調査終了の都度、洗浄・清掃すること。
- (8) 調査終了後は、すみやかに使用機械、仮設物等を搬出し、調査箇所の清掃に努めること。

3.2 調査工

(1) 調査計画書

受託者は調査にあたり、事前に次の事項を記載した業務計画書を提出すること。

- ①調査概要
- ②現場組織（職務分担、緊急連絡体制等）
- ③調査計画（カメラ、ビデオカメラ装置等使用機械、調査方法、実施工程等）
- ④安全計画（保安対策、道路交通の処理方法、管きょ内と地上との連絡方法、酸素欠乏空気・有毒ガス対策等）
- ⑤その他
担当員の指示する事項

(2) 調査機材

調査に使用する機材は、常に点検し、安全に整備しておくこと。

(3) 調査時間

調査にあたっては、道路使用許可条件を厳守すること。夜間作業の場合は、担当員及び道路使用許可者等と十分協議すること。

(4) カメラによる調査

- 1) 調査にあたっては、あらかじめ、当該調査箇所を洗浄し、調査の精度を高めること。
なお、洗浄に高圧洗浄車を使用した場合、その洗浄水は水道水等を使用すること。
- 2) 本管の調査は、原則として上流から下流に向け、カメラを移動させながら行うこと。
- 3) 本管の調査にあたっては、管の破損、継手部の不良、クラック、取付管口等に十分注意しながら、全区間撮影（カラー）し、DVD等に収録すること。異状箇所、取付管口等の必要箇所については、側視撮影（カラー）し、鮮明な画像をDVD等に収録すること。
- 4) 本管内の異状箇所の位置表示は、上流側マンホール中心からの距離とし、正確に測定すること。
- 5) 取付管部の異状箇所の位置表示は、上流側マンホール中心からの距離とする。
- 6) 管内に異状が発見された場合は、DVD等とは別にモニターから写真撮影（カラー）を行うものとする。これらの撮影内容及び方法の変更は、事前に担当員と協議し、承諾を得なければならない。

(5) 目視による調査

- 1) 調査区間内のマンホール調査は、マンホール内に調査員が入り、十分な照明のもとに土砂等の堆積状況、管きよの布設状況、侵入水、マンホール内のクラック、側壁、目地のずれ、足掛金物及びコンクリートの腐食、足掛金物の欠損本数、蓋の摩耗度、蓋のがたつき・蓋違いの有無等のマンホール内の不良箇所を調査し、写真撮影（カラー）を行うものとする。

写真は、調査月日、異常内容、発生場所等を明記して、カラーで撮影すること。

(6) 巡視・点検（地表、マンホール内部、マンホール蓋等）

管路施設の大部分は、地下構造物であるが、地上から目視調査が可能な、地表部の状況、マンホール内部、マンホール蓋等の調査を行うこと。

(7) マンホール蓋調査

- 1) マンホール蓋調査は、設置環境に対する耐荷重種類別・用途種類別・機能種類別適用の適・不適及びクラック、欠け等の損傷劣化状況についての判定を行うものとする。
- 2) 調査項目及び内容については、表一のとおりとし、調査にあたっては、本管同様、撮影(カラー)を行うものとする。

表－1 マンホールふた調査項目・内容

調 査 項 目		調 査 内 容
設置基準による判定	耐荷重種類別	道路区分に対してふたの荷重仕様を確認。
	浮上防止機能	浮上防止機能の適用箇所に対しての浮上防止機能の有無を確認。
	転落防止機能	転落防止機能の適用箇所に対しての転落防止機能の有無を確認。
損傷劣化による判定	外観	強度に影響を及ぼすクラック・欠け等を目視により確認を行う。
	がたつき	車輛通過時の音あるいは足踏みによる動きにより確認を行う。
	表面摩耗	ふた表面の最小残存模様高さをデプスゲージ等による測定を行う。
	腐食	ふた表面及び裏面の鑄出し表示の消滅及びふたの開閉性能について確認を行う。
	機能の作動	浮上防止、かぎ構造等の機能の作動状況の確認を行う。
	ふた・枠間の段差	ふたと枠の段差を目視またはデプスゲージ等の測定により確認を行う。
	その他	高さ調整部の欠け・充填不良等、周辺舗装の損傷及び段差の確認を目視等により行う。

(8) 異常時の処置

調査の続行が困難になった場合は、ただちに担当員に報告し、指示を受けること。

この場合においても、上下流から調査するなど、調査の完遂に努め、その原因を把握すること。

3.3 報告書

(1) 調査結果は業務報告書を作成し、提出すること。

(2) 調査結果をテレビモニターから DVD 等に収録する場合は、一般用 DVD 等に収録すること。

なお、提出する DVD 及び写真データには、件名、地名、路線番号、継手番号、管径、並びに距離等をタイプ表示すること。

(3) 本管調査結果の判定基準については、表－2 によること。

(4) 人孔本体調査結果の判定基準については、表－3 によること。

(5) 人孔蓋等調査結果の判定基準については、表－4、表－4－1 によること。

(6) 提出する成果品は、次のとおりとする。

- ① 業務報告書
 - ・本管調査記録表(xls・pdf)→表－5 参考
 - ・人孔本体調査記録表(xls・pdf)→表－7 参考
 - ・人孔蓋等査記録表→表－6、表－8 参考
 - ・異常箇所写真(jpg)
 - ・テレビカメラ動画(AVI 等)

②その他担当員の指示するもの

表-2 本管調査結果の判定基準

項目		ランク	A	B	C
スパン全体で評価	1) 管の腐食		鉄筋露出状態	骨材露出状態	表面が荒れた状態
	2) 上下方向のたるみ	管渠内径 (700mm未満)	内径以上	内径1/2以上	内径1/2未満
		管渠内径 (700mm以上1650mm未満)	内径の1/2以上	内径1/4以上	内径1/4未満
		管渠内径 (1650mm以上3000mm未満)	内径の1/4以上	内径1/8以上	内径1/8未満

項目		ランク	A	B	C
管一本ごとに評価	3) 管の破損	鉄筋コンクリート管等	欠落 軸方向のクラックで幅5mm以上	軸方向のクラックで幅2mm以上	軸方向のクラックで幅2mm未満
		陶管	欠落 軸方向のクラックが管長の1/2以上	軸方向のクラックが管長の1/2未満	—
	4) 管のクラック	鉄筋コンクリート管等	円周方向のクラックで幅5mm以上	円周方向のクラックで幅2mm以上	円周方向のクラックで幅2mm未満
		陶管	円周方向のクラックでその長さが円周の2/3以上	円周方向のクラックでその長さが円周の2/3未満	—
	5) 管の継手ズレ		脱却	鉄筋コンクリート管等 : 70mm以上 陶管 : 50mm以上	鉄筋コンクリート管等 : 70mm未満 陶管 : 50mm未満
	6) 浸入水		噴き出ている	流れている	にじんでいる
	7) 取付管の突出し		本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
	8) 油脂の付着		内径の1/3以上付着	内径の1/10~1/3付着	内径の1/10未満付着
	9) 樹木根浸入		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
	10) モルタル付着		内径の3割以上	内径の1割以上	内径の1割未満

表-3 人孔本体調査結果の判定基準

スパン番号		マンホール種別	号/寸法	道路管理者	国道/県道/市道/私道	排除方式	合流/汚水/雨水
マンホール番号				占用位置	車道/歩道/その他		
酸素濃度	%		硫化水素濃度	ppm		調査日	

部 位	異常項目	調査結果						備 考	
		Aランク	結果	Bランク	結果	Cランク	結果		
マンホール	調査部	調査部状況	調整モルタル及びリングが破損・欠落		調整モルタル及びリングのずれ		調整モルタル及びリングのずれ・クラック		
	斜壁	腐食	鉄筋露出		骨材露出		表面の荒れ		
		破損	欠落・陥没		全体に亀裂		軽微なクラック(A・B以外)		
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック(人孔半周、幅2~5mm以上)		軽微なクラック(幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんている状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10~50%以上		内径の10%未満		
	直壁(管口部含む)	腐食	鉄筋露出(表面pH:1程度)		骨材露出(表面pH:3未満)		表面の荒れ(表面pH:3以上5以下)		内面表面pH ^{※1} (下流管口)
		破損	欠落(陥没)		全体に亀裂		軽微な破損(A・B以外)		
		クラック	全体がクラック(人孔全周、幅5mm以上)		部分的にクラック(人孔半周、幅2~5mm以上)		軽微なクラック(幅2mm未満)		
		隙間・ズレ	全体が脱却		一部が脱却		わずかの隙間・ズレ		
		浸入水	噴き出ている状態		流れている状態		にじんている状態		
		木根侵入	内径の50%以上		内径の10~50%以上		内径の10%未満		
		タルミ	内径の3/4以上		内径の1/2~3/4		内径の1/2未満		
	足掛金具	腐食・劣化状況	欠落している		鉄筋が細くなっている		錆の発生		足掛本数 ^{※2}
インバート	インバート状況	インバートがない		部分的な欠損		-			
全体	臭気	常に発生		使用ピーク中に発生		季節的に発生			
流下状況	油脂・モルタル・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着		管径の1/3~1/10の付着		管径の1/10未満の付着			

※1：表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合(圧送管吐出先部、伏越しマンホール等)で測定する。(腐食ランクが判定される箇所では表面pHを測定する。判定されない箇所では測定不要。)

※2：足掛本数は、点検・調査実施時に残存している本数とする。

表-4 人孔蓋調査結果の判定基準

マンホールふたの点検及び調査における判定基準 ¹⁾

項目				判定ランク					
				A	B	C	D	E	
機能不足	設置基準適合性	耐荷重種類別	車道	大型車両の通行あり	T-8	T-14	T-20	-	T-25
			大型車両の通行なし	-	T-8	-	-	T-14 T-20 T-25	
		歩道	-	-	-	-	T-8 T-14 T-20 T-25		
			浮上・飛散防止機能	機能なし	-	-	-	-	機能あり
			転落・落下防止機能	機能なし	-	-	-	-	機能あり
			浮上・飛散防止機能の作動	作動しない (錠、蝶番の脱落、固着、腐食減肉が顕著)	-	-	-	-	正常に作動する
			不法投棄・侵入防止機能の作動 (専用工具以外利用)	容易に開く	-	-	-	-	正常に作動する (容易に開かない)
			落下・転落防止機能の作動	作動しない	-	-	-	-	正常に作動する
			開閉機能の作動	人力では開閉不能	勾配面の腐食により開閉困難	食込み力増大による開閉困難	-	-	正常に開閉可能
	性能劣化	マンホールふた	外観 (ふた及び受け枠の破損・クラック)		ある	-	-	-	-
がたつき			がたつきがある	-	-	-	-	なし	
表面摩耗 (模様高さH)			車道	≦2mm	-	2~3mm	>3mmかつ 鑄肌無	>3mmかつ 鑄肌有	
			歩道	≦2mm	-	-	2~3mm	>3mm	
腐食(鑄出し表示の消滅)			-	見えないほどの発錆	-	見えるが少し発錆	なし		
ふた・受け枠間の段差			急勾配受け構造	ふたの沈み	≧2mm	-	-	-	<2mm
		ふたの浮き		≧10mm	-	-	-	<10mm	
		平受け構造・緩勾配受け構造		≧10mm	-	-	-	<10mm	
高さ調整部の損傷 (欠け・充填不良・クラック)		あり	-	-	-	-	なし		
周辺舗装		損傷(穴、クラック)		どちらもある状態	クラックがあり、かつ穴がない	どちらもないが、受け枠と路面の間に隙間ができている	-	-	なし
	ふたと周辺舗装の段差		≧20mm	-	-	-	-	<20mm	

表-4-1 樹調査結果の判定基準

ます調査判定基準(参考例)

部 位		異常項目	判定基準			備 考
			A	B	C	
ます蓋・受け枠		蓋違い・ガタツキ	開閉できない	ガタツキがある	—	鉄蓋の場合
		蓋の破損・劣化	蓋・受け枠にクラックや欠けがある	—	—	
		蓋の摩擦	表面がつるつるして通行に支障をきたす(車歩道部の蓋溝高さ:2mm以下)	摩耗が大(車道部の蓋溝高さ:2~3mm以下)	摩耗が小(歩道部の蓋溝高さ:2~3mm以下)	
		蓋裏錆	—	多量発錆	少量発錆	
ます内部	側塊	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ	
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(a・b以外)	
		クラック	全体にクラック	部分的にクラック	軽微なクラック	
		側塊・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内寸の50%以上	内寸の10~50%以上	内寸の10%未満	
	底塊	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ	
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(a・b以外)	
		クラック	全体にクラック	部分的にクラック	軽微なクラック	
		側塊・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内寸の50%以上	内寸の10~50%以上	内寸の10%未満	
		油脂・モルタル・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着	管径の1/3~1/10の付着	管径の1/10未満の付着	
		インバート状況	インバートがない	部分的な欠損	—	
管口	取付け管側	ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	管径: 管種:
	宅内側	ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	管径: 管種:
ます内環境	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生		

表-5 本管調査記録表

上流マンホールNo.										下流マンホールNo.							調査年月日	路線No.	
区画	メッシュ	枝	マンホール種別	マンホール深	管頂深	マンホール蓋種別	管種	管径	マンホール間延長	区画	メッシュ	枝	マンホール種別	マンホール深	管頂深	マンホール蓋種別			
継手部	継手数																		管本数 [本]
	写真番号																		取付管数 [箇所]
	内容																		管不良数 [本] VTR番号 [巻] カウンター番号 [] [] 布設年度 [年]
本管部	継手数																		占用位置
	写真番号																		1. 国道, 道道, 主要町道の車道 2. 裏通り, 歩道内, ガードレール内 3. 上記以外
	内容																		
取付管部	継手数																		該当番号
	写真番号																		番
	内容																		
考察																			

異常箇所	管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付管の突出し			油脂の付着			樹木根浸入			モルタル付着			計			備考	
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c		
継手部																																			
本管部																																			
取付管部																																			
計																																			

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況、生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。
 注2 ()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根浸入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。

表-6 公共柵調査記録表

公共柵点検記録調書 調査年月日 令和 年 月 日 路線 番号

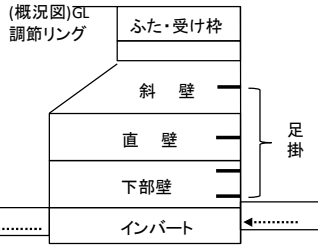
汚水柵		樹形状	型	
		接続箇所	箇所	
ます蓋・受枠		異常項目	判定基準	
			A・B・C	
		蓋違い・ガタツキ	A・B・C	
		蓋の損傷・劣化	A・B・C	
ます内部	側塊	蓋の摩擦	A・B・C	
		蓋裏錆	A・B・C	
		腐食	A・B・C	
		破損	A・B・C	
		クラック	A・B・C	
		側塊・ズレ	A・B・C	
	底塊	浸入水	A・B・C	
		木根侵入	A・B・C	
		腐食	A・B・C	
		破損	A・B・C	
		クラック	A・B・C	
		側塊・ズレ	A・B・C	
管口	取付管側	ズレ	A・B・C	
	宅内側	ズレ	A・B・C	
ます内環境		臭気	A・B・C	
異常箇所写真				

写真番号

備考

表一七、表一八 人孔蓋・人孔本体調査記録表

										コードNo.	
基本情報	点検日	平成 年 月 日			天候			記録者			
	処理区分	図面名称			図面ページ	図面メッシュ					
	管路区分	<input type="checkbox"/> 幹線 <input type="checkbox"/> 枝線		下流管理番号			マンホール番号				
	道路種別	<input type="checkbox"/> 国道 <input type="checkbox"/> 主要道 <input type="checkbox"/> 一般県道 <input type="checkbox"/> 一般市町村道 <input type="checkbox"/> 私道 <input type="checkbox"/> 借用 <input type="checkbox"/> その他									
	占有位置	<input type="checkbox"/> 車道 (<input type="checkbox"/> わだち <input type="checkbox"/> 車線中央 <input type="checkbox"/> 路肩 <input type="checkbox"/> 植樹帯 <input type="checkbox"/> 中央分離帯) <input type="checkbox"/> 歩道 <input type="checkbox"/> その他									
	道路幅員	<input type="checkbox"/> 5.5m以上 <input type="checkbox"/> 5.5m未満		すりつけ	+・- cm						
	舗装種別	<input type="checkbox"/> AS <input type="checkbox"/> CR <input type="checkbox"/> 平板 <input type="checkbox"/> 砂利道 <input type="checkbox"/> その他									
	エリア特性	<input type="checkbox"/> バス通り <input type="checkbox"/> 重量車両通行多 <input type="checkbox"/> ビルビット付近 <input type="checkbox"/> 特殊排水 <input type="checkbox"/> その他 ※複数選択可									
	段落落差	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		副管	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有						
	マンホールふた	マンホールふたタイプ	No.	製造年	昭和〇〇年	製造メーカー					
ふた呼び径		<input type="checkbox"/> 300 <input type="checkbox"/> 400 <input type="checkbox"/> 500 <input type="checkbox"/> 600 <input type="checkbox"/> 900 <input type="checkbox"/> その他			材質	<input type="checkbox"/> FOD <input type="checkbox"/> FC <input type="checkbox"/> CR <input type="checkbox"/> 不明					
支持構造		<input type="checkbox"/> 平受け <input type="checkbox"/> 緩勾配受け <input type="checkbox"/> 急勾配受け			耐荷重種別	<input type="checkbox"/> T-25 <input type="checkbox"/> T-20 <input type="checkbox"/> T-14 <input type="checkbox"/> T-8 <input type="checkbox"/> 不明					
上部壁～GL間		cm	調整リング	cm× 枚、 cm× 枚							
点検・調査項目		点検・調査内容		点検調査結果							
設置基準適合性		耐荷重種別	歩・車道別による設置状況			A	B	C	D	E	
		浮上・飛散防止機能	浮上・飛散防止の機能					-	-		
		転落・落下防止機能	転落・落下防止の機能					-	-		
機能支障		浮上・飛散防止機能	機能の作動					-	-		
		不法投棄・侵入防止	専用工具以外の利用による開閉					-	-		
	転落・落下防止機能	機能の作動					-	-			
性能劣化	開閉機能	機能の作動					-	-			
	外観	クラック・欠け					-	-			
	がたつき	車両通過音・足踏みによる動き					-	-			
	表面摩耗	表面摩耗の状態 ① mm ② mm ③ mm ④ mm ⑤ mm 平均 mm					-	-			
	腐食	錆出し表示の状態					-	-			
	機能の作動	浮上防止	作動状況					-	-		
		錠構造						-	-		
転落防止							-	-			
ふた・受け枠間の段差	ふた・受け枠間の段差					-	-				
高さ調整部の損傷	欠け・充填不良・クラック					-	-				
集計欄											
周辺舗装	周辺舗装の損傷						-	-			
	ふた・周辺舗装の段差						-	-			
集計欄											
マンホール	基本情報	マンホール種別	マンホール深	m							
	点検項目	点検結果									
	足掛	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不足 <input type="checkbox"/> その他()									
	斜壁	<input type="checkbox"/> ずれ <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 侵入水									
	直壁	<input type="checkbox"/> ずれ <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 侵入水 <input type="checkbox"/> 仕上									
	下部壁	<input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 侵入水									
	インバート	<input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 侵入水 <input type="checkbox"/> 構造									
	水深	cm[時刻]									
腐食度	別紙チェックシートに記入・コメント										
施設	判定結果	判定	施設	考察							
マンホールふた	継続使用	異常なし	マンホール								
	措置	改築必要 応急処置の有無 措置内容									
(備考)				表面摩耗計測点							



3.4 その他

- (1) 調査箇所において、下水道施設に破損、不等沈下、腐食等の異状を発見した場合はすみやかに担当員に報告すること。
- (2) 設計図書に特に明示していない事項であっても、調査の遂行上、当然必要なものは、受託者の負担において処理すること。
- (3) その他特に定めのない事項については、すみやかに担当員に報告し、指示を受けて処理すること。

第4章 管口カメラ調査工

4.1 一般事項

- (1) 請負者は、作業計画書に調査箇所、調査順序等を定め、事前に監督員に報告した上で、調査に着手すること。
- (2) 調査にあたっては、必要な保護措置を講じ、下水道施設に損傷を与えないよう十分留意すること。
- (3) 請負者は、調査にあたり、騒音規制法、振動規制法及び芽室町公害防止条例等の公害防止関係法令に定める、規制基準を遵守するために必要な措置を講ずること。
- (5) 請負者が監督員の指示に反して、調査を続行した場合及び監督員が事故防止上危機と判断した場合は、調査の一時中止を命ずることがある。
- (6) 調査にあたり、道路その他の工作物を汚損させないこと。万一、汚損させた時は、調査終了の都度、洗浄・清掃すること。
- (7) 調査終了後は、すみやかに使用機器、仮設物等を搬出し、調査箇所の清掃に努めること。

4.2 調査工

(1) 調査計画書

請負者は、調査にあたり、事前に次の事項を記載した調査計画書を提出すること。

- ① 調査概要
- ② 現場組織（職務分担、緊急連絡体制等）
- ③ 調査計画（管口カメラ装置等使用機器、調査方法、実施工程等）
- ④ 安全計画（保安対策、道路交通の処理方法等）
- ⑤ その他（監督員の指示する事項）

(2) 調査機材

調査に使用する機材は、常に点検し、完全な整備をしておくこと。

(3) 調査時間

調査にあたっては、道路使用許可条件を厳守すること。

(4) 調査の実施

- 1) 原則として、地上から伸縮性のあるロッドの先端に取り付けた管口カメラ装置をマン

- ホール内に挿入し、地上にいる調査員が手元のモニタを見ながら調査を行う。
- 2) 対象となる各マンホールに接続している本管は全て調査すること。
 - 3) 調査にあたっては、管内の異常が判別し易いように、強力な照明装置を用いてカラーで撮影すること。
 - 4) 複数の管渠が接続しているマンホールでは、調査する管渠ごとに、流下方向に対する角度等を用いて正確に記録すること。
 - 5) 管口の調査と合わせて、可視範囲のマンホール内異常、マンホール鉄蓋（表面、裏面）の異常についても調査を実施すること。
 - 6) 本管（管口）の調査項目と判定基準は、表－1によること。
 - 7) 人孔本体の調査項目と判定基準は、表－2によること。
 - 8) 人孔鉄蓋の調査項目と判定基準は、表－3によること。

表－1 本管（管口）の調査項目と判定基準

調査項目	判定基準
腐食	有無（詳細調査が必要かどうか、という観点で）
たるみ	〃
破損	〃
軸クラック	〃
周クラック	〃
浸入水	〃
ずれ	〃
堆積	〃
付着物	〃
取付管突出	〃
木根侵入	〃
その他	〃

表－2 マンホール本体の調査項目と判定基準

部位	異常項目	Aランク	Bランク	Cランク	備考	
人孔本体	調整部	調整部状況	調整モルタル及びびリングが破損・欠落	調整モルタル及びびリングのずれ	調整モルタル及びびリングのずれ・クラック	
	斜壁 直壁	腐食	鉄筋露出 (表面pH: 1程度)	骨材露出 (表面pH: 3未満)	表面の荒れ (表面pH: 3以上5以下)	
		破損	欠落(陥没)	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)	
		クラック	全体がクラック(管全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(管半周、幅2~5mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)	
		隙間・継手ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10~50%以上	内径の10%未満	
		足掛金具	腐食・劣化状況	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生
	インバート	インバート状況	インバートがない	部分的な欠損	—	
		堆積状況	閉塞している	内径の50%以上閉塞	部分的な付着	モルタル・油脂・土砂等
	全体	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生	

※コンクリート表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合(圧送管吐出先部)でのみ測定

表-3 マンホール蓋の調査項目と判定基準

1. 設置基準による判定

(1)耐荷重種類別	種 類		T-25	T-20	T-14	T-8
	道路区分					
	車 道	大型車輛の通行あり	E	C	B	A
		大型車輛の通行が少ない	E	E	E	B
	歩 道		E	E	E	E
(2)浮上防止機能	機能区分		機能あり		機能なし	
	適用箇所 浮上防止機能の適用	必要あり	人や車輛の通行が多い場所		E	
			人や車輛の通行が少ない場所		E	
		必要なし				
(3)転落防止機能	機能区分		機能あり		機能なし	
	適用箇所 転落防止機能の適用	必要あり	E		A	
		必要なし				

2. 損傷劣化による判定

(1)外観	区 分		無	有	
	状 況				
	ク	ラ ッ ク	E	A	
(2)がたつき	区 分		音や動きのないもの	音や動きのあるもの	
	状 況				
	車輛通過時・足踏み時		E	A	
(3)表面摩耗	種 類		H>3mm	3~2mm	H<2mm
	道路区分				
	車 道	一般箇所	E	E	A
		特殊箇所 (注)	E	E	B
	歩 道		E	E	E
(注) 交差点・カーブ・坂道等、二輪車のスリップしやすい場所。					
(4)腐食	区 分		無	有	
	状 況				
	鑄出し表示の消滅	E	B		
	開閉性能の阻害		E	B	
(5)機能の作動	区 分		無	有	
	機能種別				
	浮上防止		E	A	
	かぎ構造		E	B	
	転落装備		E	A	
(6)その他	区 分		無	有	
	状 況				
	高さ調整部の損傷 (欠け, 充填不良, クラック)		E	A	
	ふた・枠間の大きな段差		E	A	

- A. 危険度非常に大, 緊急に措置必要レベル
- B. 危険度大, 早期の措置必要レベル
- C. 危険度中, 計画的措置必要レベル
- D. 危険度小, 経過観察必要レベル
- E. 問題ないレベル

(5) 異常発生時の処置

調査の続行が困難になった場合は、ただちに監督員に報告し、指示を受けること。

この場合においても、可能な範囲を調査するなど、なるべく調査の完遂に努め、その原因を把握すること。

4.3 報告書

(1) 調査結果は業務報告書を作成し、提出すること。

(2) 調査結果を DVD 等のメディアに収録する場合は、一般用 DVD ドライブで再生できるように収録すること。なお、提出するメディアには、件名、地名、路線番号、継手番号、管径、並びに距離等を印字すること。

(3) 提出する成果品は、次のとおりとする。

①業務報告書

- ・ 本管調査記録表(X L S ・ P D F) → 表-4 参考
- ・ 人孔本体調査記録表(X L S ・ P D F) → 表-5 参考
- ・ 人孔蓋調査記録表(X L S ・ P D F) → 表-6 参考
- ・ 調査写真帳(X L S ・ P D F)
- ・ 協議メモ

②その他監督員の指示するもの

表-4 本管（管口）調査記録表

管口カメラ調査記録表

整理番号		調査年月日	
施設番号		調査機関	
人孔番号		調査担当者	

方向（下流管：12時）				管渠番号			
管種	<input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> VU <input type="checkbox"/> 他()	形状		<input type="checkbox"/> 円形 <input type="checkbox"/> 矩形 <input type="checkbox"/> 卵形	管径		
調査項目	有・無	位置		備考			
腐食	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
たるみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
破損	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
軸クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
周クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
浸入水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
ずれ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
堆積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
付着物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
取付管突出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
木根侵入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
判定結果	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 要経過観察 <input type="checkbox"/> 要清掃 <input type="checkbox"/> 要詳細調査 <input type="checkbox"/> その他()						

方向（下流管：12時）				管渠番号			
管種	<input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> VU <input type="checkbox"/> 他()	形状		<input type="checkbox"/> 円形 <input type="checkbox"/> 矩形 <input type="checkbox"/> 卵形	管径		
調査項目	有・無	位置		備考			
腐食	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
たるみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
破損	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
軸クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
周クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
浸入水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
ずれ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
堆積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
付着物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
取付管突出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
木根侵入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
判定結果	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 要経過観察 <input type="checkbox"/> 要清掃 <input type="checkbox"/> 要詳細調査 <input type="checkbox"/> その他()						

方向（下流管：12時）				管渠番号			
管種	<input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> VU <input type="checkbox"/> 他()	形状		<input type="checkbox"/> 円形 <input type="checkbox"/> 矩形 <input type="checkbox"/> 卵形	管径		
調査項目	有・無	位置		備考			
腐食	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
たるみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
破損	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
軸クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
周クラック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
浸入水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
ずれ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
堆積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
付着物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
取付管突出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
木根侵入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人孔付近	<input type="checkbox"/> 管奥部				
判定結果	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 要経過観察 <input type="checkbox"/> 要清掃 <input type="checkbox"/> 要詳細調査 <input type="checkbox"/> その他()						

表-5 人孔本体調査記録表

人孔No.		人孔サイズ		流入管本数	本
調査実施日		天候		記録者	
道路種別	国道・道道・町道・私道・その他		占用位置	車道・歩道・その他()	

部位	異常項目	判定基準			調査結果	劣化状況メモ	写真No	定量調査
		Aランク	Bランク	Cランク				
人孔本体	調整部	調整部状況	調整モルタル及びリングが破損・欠落	調整モルタル及びリングのずれ	調整モルタル及びリングのずれ・クラック			調整部高さ cm
	斜壁	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ			/
		破損	欠落(陥没)	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)			
		クラック	全体がクラック(管全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(管半周、幅2~5mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)			
		隙間・継手ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ			
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態			
		侵入根	内径の50%以上	内径の10~50%以上	内径の10%未満			
	直壁 (管口部含む)	腐食	鉄筋露出(表面pH:1程度)	骨材露出(表面pH:3未満)	表面の荒れ(表面pH:3以上5以下)			コンクリート表面pH
		破損	欠落(陥没)	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)			・上流管口
		クラック	全体がクラック(管全周、幅5mm以上)	部分的にクラック(管半周、幅2~5mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)			・下流管口
		隙間・継手ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ			
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態			
		侵入根	内径の50%以上	内径の10~50%以上	内径の10%未満			
		堆積状況	管径の1/3以上の付着	管径の1/3~1/10の付着	管径の1/10未満の付着			
足掛金具	腐食・劣化状況	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生			足掛本数 本	
インバート	インバート状況	インバートがない	部分的な欠損	-			/	
	堆積状況	閉塞している	内径の50%以上閉塞	部分的な付着			/	
全体	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生			/	

※鉄蓋の摩耗量、調整部高さは、全ての箇所測定する。

※コンクリート表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合(圧送管吐出先部)でのみ測定。

表-6 人孔蓋調査記録表

						調査年月日						
人孔No.	人孔種別		舗装種別	<input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 平版ブロック <input type="checkbox"/> 砂利道 <input type="checkbox"/> その他()		歩車道の別		<input type="checkbox"/> 歩道 <input type="checkbox"/> 車道 大型車交通量 <input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少				
設置場所	道路種別			<input type="checkbox"/> 国道 <input type="checkbox"/> 道道 <input type="checkbox"/> 町道 <input type="checkbox"/> 私道 <input type="checkbox"/> その他()								
仕様	区分	<input type="checkbox"/> 汚水 <input type="checkbox"/> 雨水		設置年度(※)	年度	経過年数	年					
	種類	<input type="checkbox"/> T-25 <input type="checkbox"/> T-20 <input type="checkbox"/> T-14 <input type="checkbox"/> T-8 <input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/> 平受け型 <input type="checkbox"/> 急勾配受け型							
	呼び径	<input type="checkbox"/> 300 <input type="checkbox"/> 400 <input type="checkbox"/> 500 <input type="checkbox"/> 600 <input type="checkbox"/> 900 <input type="checkbox"/> その他()			材質	<input type="checkbox"/> FCD <input type="checkbox"/> FC <input type="checkbox"/> その他()						
調査・点検項目				調査・点検内容				A	B	C	D	E
判定基準	(1) 設置基準 による判定	① 耐荷重種別		歩・車道別による設置状況								
		② 浮上防止機能		浮上防止の設置箇所								
		③ 転落防止機能(ふた飛散時)		転落防止の設置箇所								
	(2) 損傷劣化 による判定	① 外観		クラック・欠け								
		② がたつき		車輛通過の音・足踏による動き								
		③ 表面摩耗		表面摩耗の状態								
		④ 腐食		鋳出し表示の状態・ふた開閉時の状態								
		⑤ 機能の作動	浮上防止	機能の作動状態								
			かぎ構造	かぎの作動状態								
	転落防止		機能の状態									
⑥ その他	高さ調節部の損傷											
	ふた・枠間の段差											

※設置年度が不明な場合は、築造年数とする

4.4 その他

(1) 作業の完了

作業を終了し、所定の書類が提出された後、検査員の検査をもって完了とする。

(2) 検査

①請負者は、中間検査及び完了検査に立会うこと。

②請負者は、検査のために必要な資料（報告書等）を、検査員の指示に従い、提出すること。

(3) その他

①作業箇所において、下水道管路施設に破損、不等沈下、腐食等の深刻な異状を発見した場合は、すみやかに監督員に報告すること。

②設計図書に特に明示していない事項であっても、作業遂行上、当然必要なものは、請負者の負担において処理すること。

③その他特に定めのない事項については、すみやかに監督員に報告し、指示を受けて処理すること。

Ⅲ 管路ストックマネジメント計画 TVカメラ調査結果簡易診断

1 業務目的

管路施設ストックマネジメントTVカメラ調査の結果を用いて、管路施設の異常の程度、対策の要否および緊急度を明らかにするために、診断を行うことを目的とする。

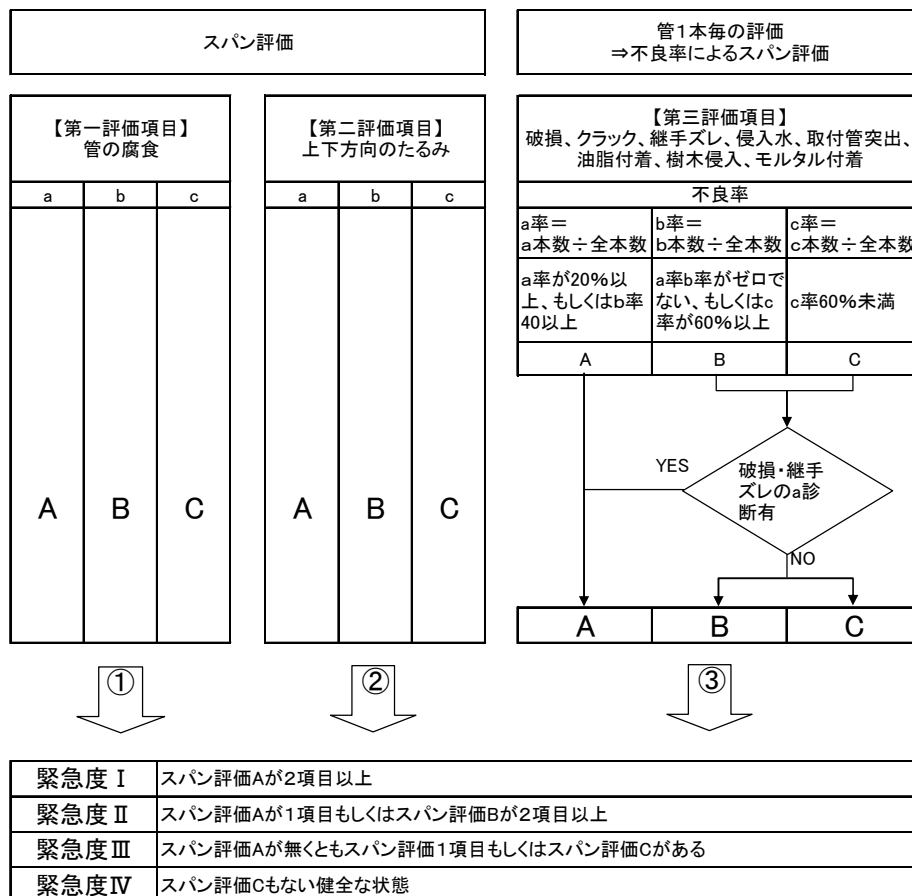
2 業務内容

(1) 調査判定結果の整理

管路施設ストックマネジメントTVカメラ調査の調査判定結果について、調査表からスパンおよび箇所毎に整理する。

(2) 緊急度の判定

調査判定結果から、施設毎の基準により今後の対策の要否および緊急度の判定を行う。なお、管渠、取付管については、以下に示す「ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化支援制度に関する手引き(案)」(平成25年9月、国土交通省水管理・国土保全局下水道部)を参考として判定を行う。



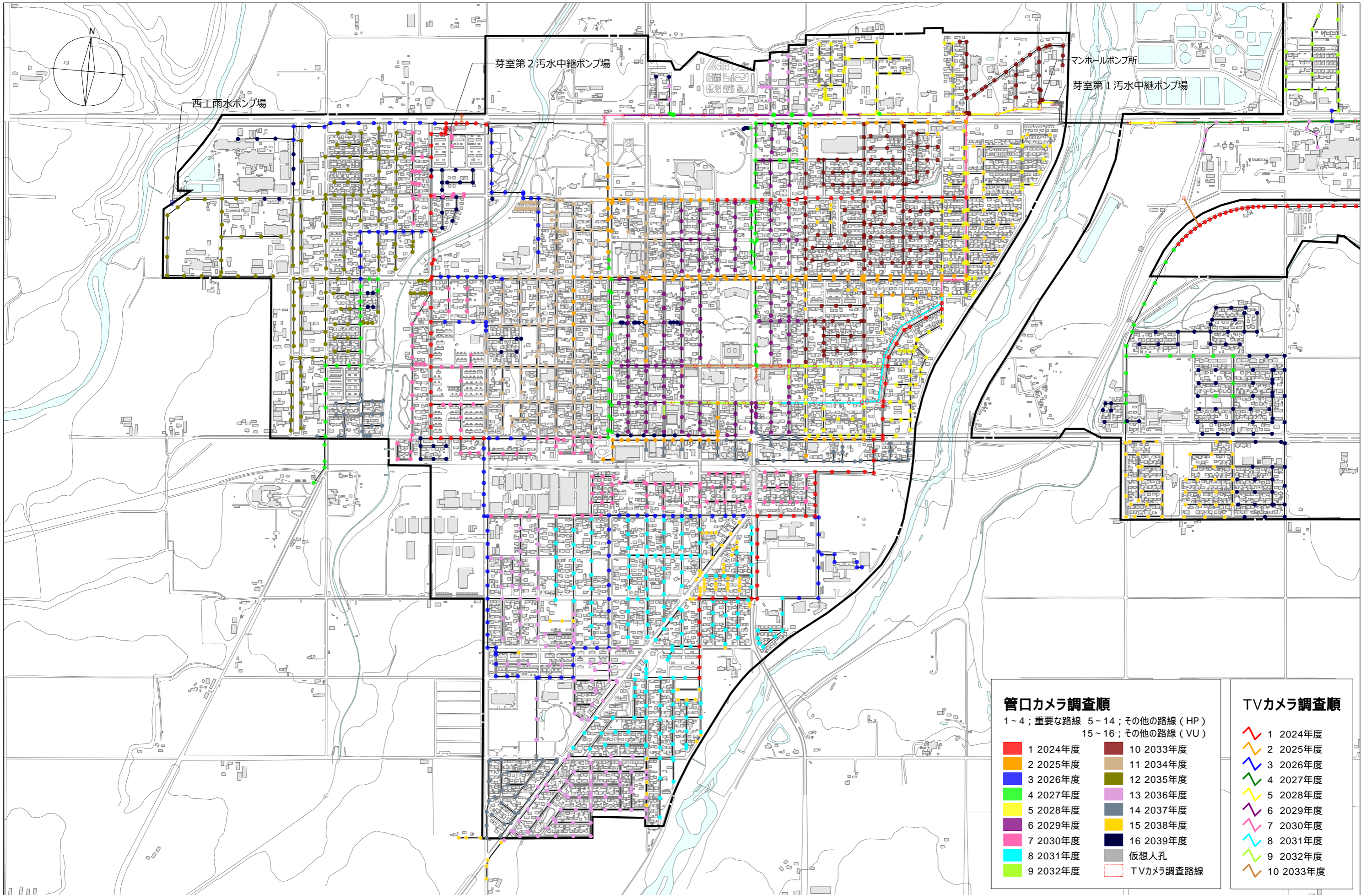
図－1 緊急度の判定(管渠)

(3) 診断結果まとめ

緊急度の判定結果をまとめて、緊急的に対策が必要な箇所があるか判断する。もし対策が必要な場合、今後の検討の進め方を整理する。

以 上

位 置 図



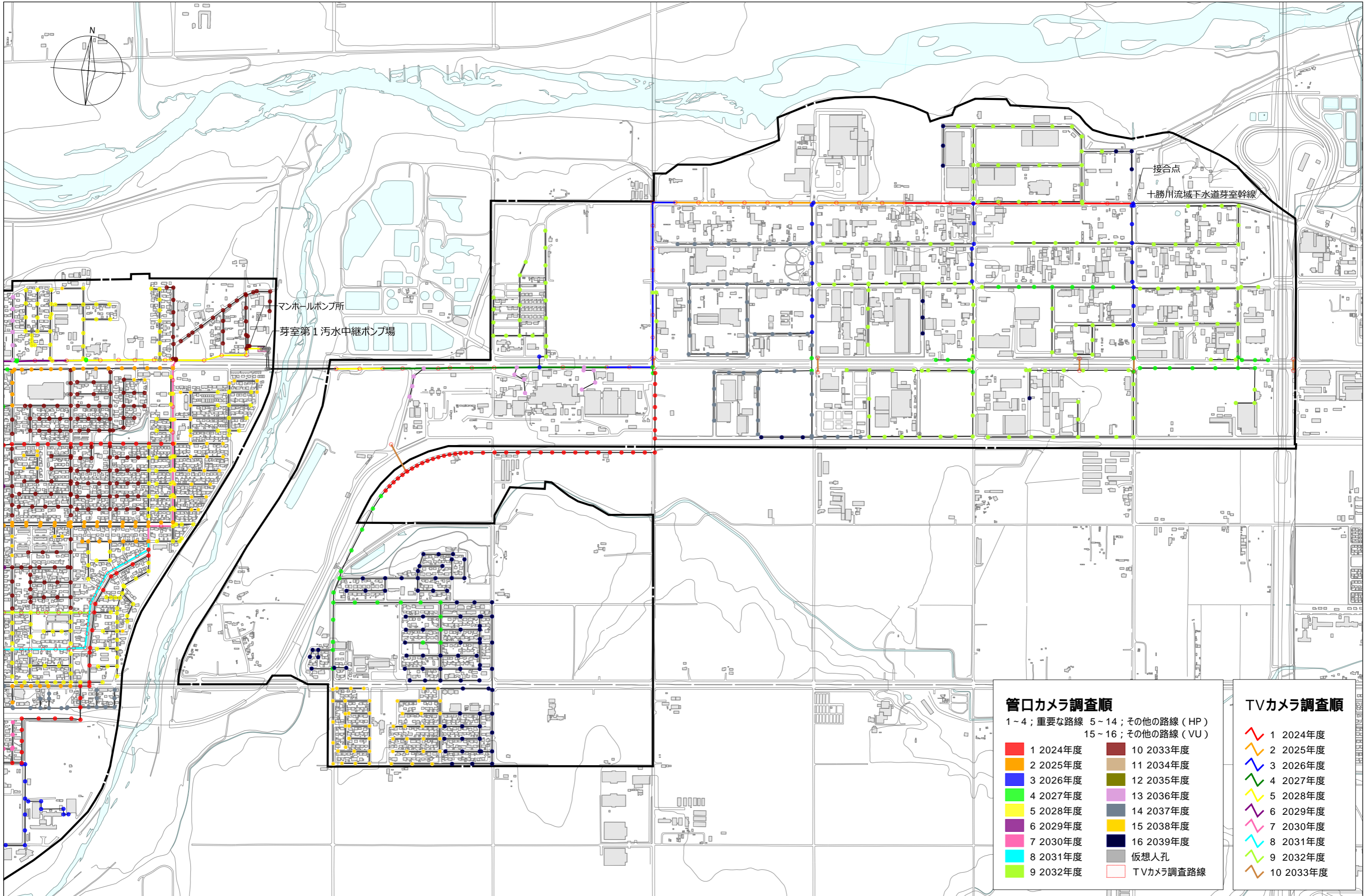
管口カメラ調査順

1~4; 重要な路線 5~14; その他の路線 (HP)
15~16; その他の路線 (VU)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 2024年度 | 10 2033年度 |
| 2 2025年度 | 11 2034年度 |
| 3 2026年度 | 12 2035年度 |
| 4 2027年度 | 13 2036年度 |
| 5 2028年度 | 14 2037年度 |
| 6 2029年度 | 15 2038年度 |
| 7 2030年度 | 16 2039年度 |
| 8 2031年度 | 仮想人孔 |
| 9 2032年度 | TVカメラ調査路線 |

TVカメラ調査順

- | |
|-----------|
| 1 2024年度 |
| 2 2025年度 |
| 3 2026年度 |
| 4 2027年度 |
| 5 2028年度 |
| 6 2029年度 |
| 7 2030年度 |
| 8 2031年度 |
| 9 2032年度 |
| 10 2033年度 |



管口カメラ調査順

1~4; 重要な路線 5~14; その他の路線 (HP)
15~16; その他の路線 (VU)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 2024年度 | 10 2033年度 |
| 2 2025年度 | 11 2034年度 |
| 3 2026年度 | 12 2035年度 |
| 4 2027年度 | 13 2036年度 |
| 5 2028年度 | 14 2037年度 |
| 6 2029年度 | 15 2038年度 |
| 7 2030年度 | 16 2039年度 |
| 8 2031年度 | 仮想人孔 |
| 9 2032年度 | TVカメラ調査路線 |

TVカメラ調査順

- | |
|-----------|
| 1 2024年度 |
| 2 2025年度 |
| 3 2026年度 |
| 4 2027年度 |
| 5 2028年度 |
| 6 2029年度 |
| 7 2030年度 |
| 8 2031年度 |
| 9 2032年度 |
| 10 2033年度 |

積算情報

設計書番号	26-18-H1-0075-0	設計者名	
出張所名	芽室町		
適用単価	一般土木		
入札日(開札日)	2026年 7月22日		
歩掛適用年月	2026年 7月 6日		
単価適用年月	2026年 7月 6日		
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、士幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・士幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	下水道工事(2)		

積算時想定工事期間	2026年 7月27日 ~ 2027年 2月26日 (215日)		
工期の設定	通常工期	実施工期: 215日	完成期限: 2027年 2月26日
冬期労務補正	2026年 7月 ~ 2027年02月	冬期労務補正: なし	時間的制約: 時間的制約無し

2026/06/23 11:37:54

工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
公共下水道維持管理事業	芽室町 公共下水道区域		

費 目	本工事費	管路施設ストックマネジメント調査診断委託

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	管路施設調査工 1 式	
	2	簡易診断 1 式	
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

諸経費情報

	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	しない
共通仮設費	主たる工種	3 1 : 下水道工事 (2)
	施工地域補正	市街地 (D I D 補正) (1) - 3
	除雪工事補正	補正無
現場環境改善費	計上の有無	しない
	市街地補正	市街地
現場管理費	施工地域補正	市街地 (D I D 補正) (1) - 3
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	市街地 (D I D 補正) (1) - 3
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2026/07
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	3 5 % を超えるもの
	契約保証に係る補正	

設計内訳書

工事名	管路施設ストックマネジメント調査診断委託			当初	事業区分		下水道	主たる工種	下水道工事(2)		
	工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
管路				式	1						
管路施設調査工				式	1						
本管カメラ調査工				式	1						
UAV調査工	水上走行型			m	805						単-1号
マンホール内換気工	UAV調査工			日	2						単-2号
管口カメラ調査工	管口カメラ貸与			基	156						単-3号
マンホール調査工				式	1						
マンホール調査工				基	11						単-4号
巡視工				式	1						
巡視工				m	805						単-5号
報告書作成				式	1						
UAV調査工報告書作成				m	805						単-6号

設計内訳書

工事名	管路施設ストックマネジメント調査診断委託			当初	事業区分		下水道	主たる工種	下水道工事(2)		
	工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
	管口カメラ調査工報告書作成				基	156					単-7号
	マンホール調査工報告書作成				基	11					単-8号
	巡視工報告書作成				m	805					単-9号
	簡易診断				式	1					
	簡易診断				式	1					単-10号
	仮設工				式	1					
	交通管理工				式	1					
	交通誘導警備員			UAV調査工・マンホール調査工・巡視工	人日	2					単-11号
	交通誘導警備員			管口カメラ調査工	人日	6					単-12号
	直接工事費				式	1					
	共通仮設費				式	1					
	共通仮設費(率計上)				式	1					

設計内訳書

工事名	管路施設ストック管理状況調査診断委託			当 初		事業区分		主たる工種			
				下水道		下水道		下水道工事(2)			
工事区分・工種・種別・細別				規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
純工事費			式		1						
現場管理費			式		1						
工事原価			式		1						
一般管理費等			式		1						
工事価格			式		1						
消費税相当額			式		1						
工事費計			式		1						

工場管理費

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 (-)		管理費区分5 , 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

共通仮設費

1	主たる工種 単独（当該工事）	下水道工事（2）	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費（処分費）		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独（追加工事）		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計（-）		
11	管理費区分1		橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分2, 7		工場原価
13	管理費区分5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分9		間接費非対象額
15	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
16	対象額支給品（+）		
17	無償貸付機械評価額（+）		
18	共通仮設費対象額 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独（追加工事）		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費（率分） 率（補正前） 単独（追加工事）		指定有り
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費（率分） 率（補正後）		
30	計上額 単独（追加工事）		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

共通仮設費

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 (-)		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2 , 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 (+)		
43	無償貸付機械評価額 (+)		
44	現場環境改善費対象額 (P i) 単独 (追加工事)		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 (補正前) 単独 (追加工事)		指定有り
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 (追加工事)		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 (補正後)		
53	計上額 単独 (追加工事)		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 (積上分)		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

現場管理費

1	主たる工種	下水道工事(2)	
2	単独(追加工事)純工事費		
3	単独(追加工事)直接工事費		
4	単独(追加工事)共通仮設費		
5	非対象額計(-)		
6	管理費区分2,7		工場原価
7	管理費区分5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分9		間接費非対象額
9	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
10	対象額支給品(+)		
11	無償貸付機械評価額(+)		
12	現場管理費対象純工事費 単独(追加工事)		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率(補正前) 単独(追加工事)		指定有り
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独(追加工事)		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独(追加工事)		
27	現工事		
28	率(補正後)		
29	計上額 単独(追加工事)		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

一般管理費等

事務所名 芽室町水道課

工事番号

第 回変更

発注年月

契約区分

主工種

下水道工事(2)

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計(-)		
7	管理費区分9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独(追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率(補正前) 単独(追加工事)		指定有り
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独(追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独(追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価(当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独(追加工事)		
24	一般管理費等 率(補正後)		
25	計上額 単独(追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W > 3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

処分費内諸経費対象額・算出区分

算出区分	算出条件	算出根拠
A	「W 3%」かつ「S 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W 3%」かつ「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

内訳書 < データ無し >

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

1次単価表

単-1号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
UAV調査工		人	2			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価
水上走行型		人	2			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	2			R0605 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	2			R0605 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量助手	割増対象賃金比0.55	人	2			R0605 管理費区分 無 道建設部策定単価
ロボット運転工		日	1			WYB00001 管理費区分 無 単-13号
UAV損料	水上走行型	時間	6			WYB00003 管理費区分 無
計						
単価						

1次単価表

単-2号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
名称 マホール内換気工		日				
規格 UAV調査工		単位	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ライトン運転工		日	1			WYB00004 管理費区分 無 単-14号
発動発電機運転	発動発電機運転時間 = 6時間 :	日	1			D9270010 管理費区分 無 単-15号
送風機損料	軸流式 50/60m3/min	日	1			WYB00008 管理費区分 無
計						
単価						

1次単価表

単-3号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
管口カマ調査工						
管口カマ貸与					25	
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量助手	割増対象賃金比0.55	人	1			R0605 管理費区分 無 道建設部策定単価
運転手(一般)	割増対象賃金比 0.813	人	1			R0115 管理費区分 無 二省労務単価
ライバノ運転工		日	1			WYB00009 管理費区分 無 単-16号
計						
単価						

1次単価表

単-4号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
マシナリ調査工					30	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	1			R0102 管理費区分 無 二省労務単価
コンクリート運搬工		日	1			WYB00012 管理費区分 無 単-17号
計						
単価						

1次単価表

単-5号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
巡視工		m			3,000	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	1			R0102 管理費区分 無 二省労務単価
ポンプ運転工		日	1			WYB00020 管理費区分 無 単-18号
計						
単価						

1次単価表

単-6号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
UAV調査工報告書作成		m			400	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師 (A)	割増対象賃金比 0.55	人	0.3			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量主任技師	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0602 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に10%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表

単-7号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
管口から調査工報告書作成					50	
技師 (A)	割増対象賃金比 0.55	人	0.3			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量主任技師	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0602 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に3%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表

単-8号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
名称	マホ-ル調査工報告書作成					
規格						
		基			80	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0602 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に3%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表

単-9号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
巡視工報告書作成		m			1,800	
測量主任技師	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0602 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師	割増対象賃金比 0.55	人	1			R0603 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
測量技師補	割増対象賃金比 0.60	人	1			R0604 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に3%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表

単-10号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
簡易診断		式	1			WYB00024 管理費区分 9
計						
単価						

1次単価表

単-11号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称		単位	人日	数量	単価	金額	単価
交通誘導警備員							
規格 UAV調査工・マンホール調査工・巡視工						1	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 A		人日	1			WB010211 管理費区分 無 単-19号	
交通誘導警備員 B		人日	1			WB010212 管理費区分 無 単-20号	
計							
単価							

1次単価表

単-12号

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員		人日	1			WB010212 管理費区分 無 単-20号
管口加圧調査工						
計						
単価						

参考資料(1)

単-13号

WYB00001

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ライトバン運転工				単位	日	数量	1	単価
規格	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
	ライトバン損料	1.5L	日	1			WYB00002 管理費区分 無		
	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	22.8			Z304010030 管理費区分 無 刊行物単価		
	計								
	単価								

参考資料(1)

単-14号

WYB00004

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称					日	数量	単価	金額	単価	摘要
規格	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
ライトバン	ライトバン	1.5L	日	1			WYB00005 管理費区分 無			
	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	22.8			Z304010030 管理費区分 無 刊行物単価			
	計									
	単価									

参考資料(1)

単-15号

D9270010

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
発動発電機運転						
規格	6時間				1	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油	ミニローリー渡し	L	17.4			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	20kVA 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.2			L001110007 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料(1)

単-16号

WYB00009

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称					日	数量	単価	金額	単価	
規格	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
ライトバン	ライトバン	1.5L	日	1			WYB00010 管理費区分 無			
	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	22.8			Z304010030 管理費区分 無 刊行物単価			
	計									
	単価									

参考資料(1)

単-17号

WYB00012

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称					日	数量	単価	金額	単価	摘要
規格	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	単価	金額	摘要	
ライトバン	ライトバン		日	1					WYB00013 管理費区分 無	
	ライトバン損料	1.5L	日	1						
	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	11.4					Z304010030 管理費区分 無 刊行物単価	
	計									
	単価									

参考資料(1)

単-18号

WYB00020

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称					日	数量	単価	金額	単価	
規格	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
ライトバン	ライトバン損料	1.5L	日	1			WYB00021 管理費区分 無			
	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	11.4			Z304010030 管理費区分 無 刊行物単価			
	計									
	単価									

参考資料(1)

単-19号

WB010211

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A		人	1			R0803 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料(1)

単-20号

WB010212

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人	1			R0804 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

集計リスト(材料)

コード	工事名	管路施設ストック管理システム調査診断委託	当初	工事区分	下水道			
				集計区分	材料	単価	金額	摘要
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
Z304010030	ガソリン	レギュラー スタンド スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	235.884			刊行物単価	
Z006702002	軽油	ミニローリー渡し	L	34.798			刊行物単価	
ZS3000004	諸雑費(まるめ)		式	1				
ZS7H10210	諸雑費		式	1				

集計リスト（その他）

コード	工事名 名称	管路施設ストックマネジメント調査診断委託	規格	単位	数量	工事区分	下水道	金額	摘要
						集計区分	その他		
	ライトハン損料		1.5L	日	1.788				
	UAV損料		水上走行型	時間	10.733				
	ライトハン損料		1.5L	日	2				
	送風機損料		軸流式 50/60m3/min	日	2				
	ライトハン損料		1.5L	日	6.24				
	ライトハン損料		1.5L	日	0.366				
	ライトハン損料		1.5L	日	0.268				
	簡易診断			式	1				

施設番号	竣工年度（西暦）	竣工年度（和暦）	排除区分	断面形状	管材質	管材質の詳細	呼び径 mm	延長 m	上流側人孔番号	下流側人孔番号	幹線名	経過年数	重要な管路等に該当	設置場所住所（自動）
11K-9A_1	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	78.94	11K-9A_1	11K-9A_2	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室北1線40～東芽室北1線23-6
11K-8A_1	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.89	11K-8A_1	11K-8A_2	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室北1線40
11K-8A_2	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.95	11K-8A_2	11K-9A_1	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室北1線40
11K-7_2	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.43	11K-7_2	11K-8A_1	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室北1線40
11K-4A_1	1978	S53	汚水	円形	推進用鉄筋コンクリート		800	29.46	11K-4A_1	11K-5A_1	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室基線40002～東芽室基線-10014
11K-5A_1	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	73.6	11K-5A_1	11K-5A_2	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室基線-10014～東芽室基線48
11K-5A_2	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.49	11K-5A_2	11K-6_1	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室基線48
11K-6_1	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.7	11K-6_1	11K-7A_1	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室基線48
11K-7A_1	1978	S53	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート	B-2	800	77.35	11K-7A_1	11K-7_2	芽室1号幹線	47	特に重要な幹線	東芽室基線48～東芽室北1線40
11K-3A_4	2000	H12	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート		800	78.55	11K-3A_4	11K-3_5	芽室1号幹線	25	特に重要な幹線	東芽室基線40002
11K-3_5	2000	H12	汚水	円形	遠心力鉄筋コンクリート		800	78.56	11K-3_5	11K-4A_1	芽室1号幹線	25	特に重要な幹線	東芽室基線40002

管渠延長	804.92	m
マンホール合計	11	基

GIS番号	路線番号	幹線名	台帳図番号	管種	口径(mm)	延長(m)	リスクランク	管渠区分	整備年度(西暦)	経過年数	備考	ブロック	地区	位置	管渠		人孔		5年に1回清掃						地盤高		管底高		STEP	人孔深(m)	前回調査年度	前回調査結果	対応方法				
															TVカメラ調査優先度	調査方法	管口カメラ調査優先度	調査方法	TVカメラ調査年度	管口カメラ調査年度	点検清掃年度	点検清掃年度	点検清掃年度	上流	下流	上流	下流										
															(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)									
398	13K-10-1	芽室3号幹線		VU	φ250	46.92	21	重要な路綫	1988	38		3	本町	西9条9丁目3-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	71.1	70.61	65.766	65.528	2.344	5.334	2015	緊急度Ⅳ			
399	13K-11-1	芽室3号幹線		VU	φ250	54.40	21	重要な路綫	1988	38		3	本町	西9条9丁目3-2 ~ 西8条9丁目3-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	70.61	70.78	65.503	65.232	0.025	5.107	2015	緊急度Ⅳ			
414	13K-11-2	芽室3号幹線		VU	φ250	53.30	21	重要な路綫	1988	38		3	本町	西8条9丁目3-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	70.78	72.182	65.522	64.952	0.012	5.560	2015	緊急度Ⅳ			
415	13K-12-1	芽室3号幹線		HP	φ250	24.68	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西8条9丁目3-2 ~ 西8条9丁目1-21	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.182	72.665	64.92	64.804	0.032	7.262	2015	緊急度Ⅲ			
416	13K-13-1	芽室3号幹線		HP	φ250	44.96	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西8条9丁目1-21	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.665	72.594	64.779	64.562	0.025	7.886	2015	緊急度Ⅲ			
417	13K-13-2	芽室3号幹線		HP	φ250	52.79	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西8条9丁目1-21 ~ 西7条9丁目2-16	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.594	72.509	64.529	64.263	0.033	8.065	2015	緊急度Ⅲ			
438	13K-13-3	芽室3号幹線		HP	φ250	52.80	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西7条9丁目1-15 ~ 西8条9丁目1-15	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.509	71.383	64.235	63.973	0.028	7.274	2015	緊急度Ⅲ			
439	13K-14-1	芽室3号幹線		HP	φ250	52.86	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西6条9丁目2-23 ~ 西8条9丁目2-23	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	71.383	71.5	63.685	63.685	0.024	7.441	2015	緊急度Ⅲ			
435	13K-14-2	芽室3号幹線		HP	φ250	52.98	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西6条9丁目2-23 ~ 西8条9丁目1-6	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	71.5	72.191	63.661	63.402	0.024	7.839	2015	緊急度Ⅲ			
436	13K-14-3	芽室3号幹線		HP	φ250	52.81	21	重要な路綫	1988	38		3	本町	西6条9丁目1-24 ~ 西5条9丁目1-6	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.191	72.081	63.368	63.1	0.034	8.823	2015	緊急度Ⅲ			
437	13K-14-4	芽室3号幹線		HP	φ250	52.80	21	重要な路綫	1988	38		3	本町	西5条9丁目1-6 ~ 西4条9丁目7-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.081	72.01	63.08	62.912	0.02	9.001	2015	緊急度Ⅲ			
438	13K-14-5	芽室3号幹線		HP	φ250	38.87	21	重要な路綫	1987	39		3	本町	西4条9丁目7-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	72.01	71.44	62.787	62.597	0.125	9.223	2015	緊急度Ⅲ			
444	12-1K-6-1	芽室2-1号幹線		HP	φ250	30.35	18	重要な路綫	1984	42		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	69.97	70.43	65.83	65.731	0.295	4.140	2015	緊急度Ⅲ			
445	12-1K-6-2	芽室2-1号幹線		HP	φ250	47.00	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	70.43	70.32	65.713	65.569	0.188	4.717	2015	緊急度Ⅲ			
446	12-1K-6-3	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.74	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	70.32	69.42	65.553	65.408	0.167	4.767	2015	緊急度Ⅳ			
447	12-1K-6-4	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.88	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	69.42	69.425	65.391	65.248	0.014	4.029	2015	緊急度Ⅳ			
448	12-1K-6-5	芽室2-1号幹線		HP	φ250	42.84	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	69.425	69.087	65.228	65.097	0.02	4.197	2015	緊急度Ⅳ			
449	12-1K-6-6	芽室2-1号幹線		HP	φ250	28.15	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2 ~	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	69.087	71.31	65.079	64.997	0.018	4.008	2015	緊急度Ⅳ			
499	12-1K-5-1	芽室2-1号幹線		HP	φ250	62.40	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	77.324	70.06	66.202	66.012	3.404	11.122	2015	緊急度Ⅲ			
500	12-1K-5-2	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.97	22	重要な路綫	1983	43		2	本町	西2条8丁目2-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	70.06	69.97	65.996	65.852	0.016	4.064	2015	緊急度Ⅳ			
539	11-1K-14-2	芽室1-1号幹線		HP	φ250	30.85	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西5条7丁目2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.19	72.9	69.106	68.939	0.019	4.084					
540	11-1K-14-1	芽室1-1号幹線		HP	φ250	32.06	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西6条7丁目3 ~ 西5条7丁目2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.179	73.19	69.278	69.125	1.618	3.901					
570	11-1K-13-2	芽室1-1号幹線		HP	φ250	30.87	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西6条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.224	73.179	69.46	69.295	0.019	3.764					
571	11-1K-13-1	芽室1-1号幹線		HP	φ250	29.64	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西6条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.224	73.224	69.626	69.479	1.434	3.718					
572	11-1K-12-1	芽室1-1号幹線		HP	φ250	29.15	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西7条7丁目3 ~ 西6条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	74.033	73.55	69.969	69.812	1.392	4.064					
574	11-1K-11-2	芽室1-1号幹線		HP	φ250	30.89	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西7条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	74.04	74.033	70.143	69.981	0.015	3.897			2013	緊急度Ⅳ	
576	11-1K-10-4	芽室1-1号幹線		HP	φ250	40.81	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西7条6丁目3 ~ 西7条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	74.706	73.96	70.539	70.335	0.016	4.167			2013	緊急度Ⅳ	
577	11-1K-11-1	芽室1-1号幹線		HP	φ250	30.81	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西7条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.96	74.04	70.317	70.158	0.018	3.643			2013	緊急度Ⅳ	
578	11-1K-12-2	芽室1-1号幹線		HP	φ250	30.92	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西6条7丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	73.55	73.344	69.783	69.645	0.029	3.767					
627	12-1K-4-2-2	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.78	18	重要な路綫	1984	42		2	本町	西3条7丁目1-1 ~ 西2条8丁目2-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	78.32	78.043	75.005	74.85	1.21	3.315			2017	緊急度Ⅳ	
628	12-1K-4-1-2	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.81	18	重要な路綫	1984	42		2	本町	西3条6丁目2-4	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	80.7	79.2	77.355	77.11	1.25	3.345			2017	緊急度Ⅳ	
650	12-1K-4-1-3	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.79	18	重要な路綫	1984	42		2	本町	西3条6丁目2-4 ~ 西3条7丁目1-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	79.2	78.56	76.72	76.495	0.39	2.480			2017	緊急度Ⅳ	
651	12-1K-4-2-1	芽室2-1号幹線		HP	φ250	46.89	18	重要な路綫	1984	42		2	本町	西3条7丁目1-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2024	R6	2029	R11	2034	R16	78.56	78.32	76.45	76.215	0.045	2.110			2017	緊急度Ⅳ	
712	11-1K-10-1	芽室1-1号幹線		HP	φ250	40.23	21	重要な路綫	1985	41		3	本町	西7条6丁目3	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	74.674	74.911	71.995</								

GIS番号	路線番号	幹線名	台帳図番号	管種	口径(mm)	延長(m)	リスクランク	管渠区分	整備年度(西暦)	経過年数	備考	ブロック	地区	位置	管渠		人孔		5年に1回清掃												地盤高		管底高		STEP(m)	人孔深(m)	前回調査年度	前回調査結果	対応方法
															TVカメラ調査優先度	調査方法	管口カメラ調査優先度	調査方法	TVカメラ調査年度		管口カメラ調査年度(人孔上流側)		点検清掃年度_1巡目		点検清掃年度_2巡目		点検清掃年度_3巡目		上流	下流	上流	下流							
																			(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)	(西暦)	(和暦)											
2297	14K-16_1	芽室4号幹線		HP	φ250	44.81	29	重要な路線	1983	43		3	錦町	東2条南2丁目3-1 ~ 東3条南2丁目10-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	85.122	84.841	80.115	79.953	1.294	5.007	2013	緊急度Ⅲ	修繕				
2298	14K-16_2	芽室4号幹線		HP	φ250	44.90	29	重要な路線	1983	43		3	錦町	東3条南2丁目10-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	84.841	84.235	79.922	79.767	0.031	4.919	2013	緊急度Ⅲ	修繕				
2329	14K-17_1	芽室4号幹線		HP	φ250	29.61	29	重要な路線	1983	43		3	錦町	東3条南2丁目10-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	84.235	84.03	78.479	78.382	1.288	5.756	2013	緊急度Ⅳ					
2330	14K-17_2	芽室4号幹線		HP	φ250	31.47	29	重要な路線	1983	43		3	錦町	東3条南2丁目10-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	84.03	83.227	78.34	78.235	0.042	5.690	2013	緊急度Ⅱ					
2331	14K-17_3	芽室4号幹線		HP	φ250	48.99	11	重要な路線	2014	12		3	錦町	東3条南2丁目10-1 ~ 東4条南1丁目6-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	83.227	82.788	76.56	76.4	1.675	6.667	2013	緊急度Ⅲ	更生				
2338	14K-20-1-4_3	芽室4号幹線		HP	φ200	10.71	18	重要な路線	1992	34		3	錦町	東6条南1丁目1-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2026	R8	2031	R13	2036	R18	78.07	78.15	74.665	74.609	0.025	3.405	2014	緊急度Ⅲ					
2339	14K-20-1_1	芽室4号幹線		HP	φ250	4.55	18	重要な路線	1992	34		3	錦町	東6条南1丁目1-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2026	R8	2031	R13	2036	R18	78.15	78.169	73.6	73.584	1.009	4.550	2013	緊急度Ⅳ					
2729	14K-13_1	芽室4号幹線		HP	φ250	23.00	21	重要な路線	1984	42		3	錦町	東1条南2丁目3 ~ 東1条南2丁目3-1	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2025	R7	2030	R12	2035	R17	86.74	86.84	82.338	82.237	0.333	4.402	2013	緊急度Ⅲ	修繕				
2763	11-3K-15_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	64.83	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室北1線20-13 ~ 東芽室北1線20-12	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	64.631	64.946	61.444	61.259	0.526	3.187	2018	緊急度Ⅳ					
2764	11-3K-16_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	64.85	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室北1線20-12 ~ 東芽室北1線43	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	64.946	65.218	61.23	61.031	0.029	3.716	2018	緊急度Ⅳ					
2765	11-3K-16_2	芽室1-3号幹線		HP	φ250	10.04	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室北1線43 ~ 東芽室北1線60-2	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	65.218	65.14	61.011	60.976	0.02	4.207	2018	緊急度Ⅳ					
2812	11-3K-14_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	70.90	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室北1線20-11 ~ 東芽室北1線20-13	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	64.72	64.631	61.682	61.481	0.034	3.038	2018	緊急度Ⅳ					
2851	11-4K-16_1	芽室1-4号幹線		HP	φ250	70.86	11	重要な路線	2014	12		5	東部	東芽室北1線53	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	62.92	62.675	59.711	59.498	1.047	3.209	2018	緊急度Ⅲ	更生				
2852	11-4K-17_1	芽室1-4号幹線		HP	φ250	69.61	11	重要な路線	2016	10		5	東部	東芽室北1線53 ~ 東芽室北1線46	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	62.675	63.33	59.468	59.263	0.03	3.207	2018	緊急度Ⅲ	更生				
2912	11-5K-17_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	64.85	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線8-18	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	60.937	60.89	55.868	55.689	2.182	5.069	2018	緊急度Ⅳ					
2913	11-5K-18_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	64.76	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線8-18	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	60.89	61.636	55.665	55.466	0.024	5.225	2018	緊急度Ⅳ					
2914	11-5K-18_2	芽室1-5号幹線		HP	φ250	7.21	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線8-18 ~ 東芽室北1線54	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	61.636	61.615	55.44	55.419	0.026	6.196	2018	緊急度Ⅳ					
2915	11-5K-18_3	芽室1-5号幹線		HP	φ250	7.46	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線54 ~ 東芽室北1線48	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	61.615	-9999	55.393	55.37	0.026	6.222	2018	緊急度Ⅳ					
2916	11-4K-15_1	芽室1-4号幹線		HP	φ250	54.36	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線14-7	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	63.191	62.928	59.983	59.809	0.029	3.208	2018	緊急度Ⅳ					
2917	11-4K-15_2	芽室1-4号幹線		HP	φ250	17.80	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線14-7 ~ 東芽室北1線53	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	62.928	62.92	59.798	59.735	0.011	3.130	2018	緊急度Ⅳ					
2935	11-5K-16_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	66.88	21	重要な路線	1991	35		5	東部	東芽室北1線8-18	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	61.39	60.937	56.096	55.889	0.005	5.294	2018	緊急度Ⅳ					
2946	11-2K-9_1	芽室1-2号幹線		VU	φ200	36.87	14	重要な路線	1987	39		5	東部	東芽室基線29-1 ~ 東芽室基線40002	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	69.55	70.72	64.47	64.401	0.024	5.080	2018	緊急度Ⅳ					
2947	11-3K-13_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	68.80	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室北1線20-5 ~ 東芽室北1線20-11	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	64.73	64.72	61.903	61.716	0.043	2.827	2018	緊急度Ⅳ					
2950	11-4K-14_1	芽室1-4号幹線		HP	φ250	58.86	21	重要な路線	1990	36		5	東部	東芽室北1線14-6 ~ 東芽室北1線14-7	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	63.458	63.191	60.185	60.012	0.018	3.273	2018	緊急度Ⅳ					
2951	11-5K-15_2	芽室1-5号幹線		HP	φ250	66.82	21	重要な路線	1991	35		5	東部	東芽室北1線8-5 ~ 東芽室北1線8-18	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	61.761	61.39	56.302	56.101	0.003	5.459	2018	緊急度Ⅳ					
2952	11-5K-15_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	18.53	21	重要な路線	1991	35		5	東部	東芽室基線56 ~ 東芽室北1線8-5	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	61.781	61.761	56.361	56.305	2.663	5.420	2018	緊急度Ⅳ					
3045	11-5K-13_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	66.84	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室基線56	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	62.48	62.16	59.233	59.03	0.082	3.247	2018	緊急度Ⅳ					
3046	11-5K-14_1	芽室1-5号幹線		HP	φ250	66.06	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室基線56	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	62.16	61.781	59.001	58.803	0.029	3.159	2018	緊急度Ⅳ					
3168	11-3K-10_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	56.80	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室基線19-13 ~ 東芽室基線19-12	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	65.85	65.519	62.516	62.349	0.134	3.334	2018	緊急度Ⅳ					
3169	11-3K-11_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	56.87	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室基線19-12 ~ 東芽室基線19-14	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	65.519	65.134	62.313	62.139	0.036	3.206	2018	緊急度Ⅳ					
3170	11-3K-12_1	芽室1-3号幹線		HP	φ250	56.84	21	重要な路線	1992	34		5	東部	東芽室基線19-14 ~ 東芽室北1線20-5	3	管口カメラ	3	管口カメラ	2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	65.134	64.73	62.116	61.946	0.023	3.018	2018	緊急度Ⅳ					
3763	1TRK-999_1	流域下水道芽室幹線		不明	不明	0.00			1978	48	流域幹線接合点	5	東部	東芽室北1線48 ~ 東芽室北1線2-128	3	管口カメラ			2026	R8	2027	R9	2032	R14	2037	R19	-9999	-9999	-9999										

部分設計書

公 共

2026年度施行

見積用

管路施設ストックマネジメントカメラ調査診断委託
簡易診断 委託業務設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

芽室町

積算情報

設計書番号	26-18-H1-0072-0	設計者名	
出張所名	芽室町		
適用単価	業務		
入札日(開札日)	2026年 7月22日		
歩掛適用年月	2026年 7月 6日		
単価適用年月	2026年 7月 6日		
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、土幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・土幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	(係数ランク 1)		

積算時想定業務期間	2026年 7月27日 ~ 2027年 2月26日 (215日)
工期の設定	通常工期 実施工期:215日 完成期限: 2027年 2月26日
冬期労務補正	2026年 7月 ~ 2027年02月 冬期労務補正:なし 時間的制約:時間的制約無し

2026/06/22 13:37:16

業務概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
公共下水道維持管理事業	芽室町 公共下水道区域		

費 目	測量及び試験費	管路施設ストックマネジメント調査診断委託 簡易診断
-----	---------	------------------------------

業 務 概 要	No	当 初	変 更
	1	加圧調査簡易診断（管路施設） 1 式	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

諸経費情報

委託先	建設コンサルタント		
測量業務	諸経費率	しない	
測量業務（竣工平面図）	諸経費率	しない	
地質調査業務（一般）	諸経費率	しない	
地質調査業務（解析）	その他原価の割合（ ）	しない	35%
	一般管理費等の割合（ ）	しない	35%
設計業務	その他原価の割合（ ）	しない	35%
	一般管理費等の割合（ ）	しない	35%

設計内訳書

業務名	管路施設ストックマネジメント調査診断委託 簡易診断		当 初	業 種 項 目	下水道設計業務 下水道施設設計業務委託			
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
下水道施設設計業務委託		式	1					
ストックマネジメント実施方針策定（管路施設）		式	1					
ストックマネジメント実施方針策定（管路施設）		式	1					
カー調査簡易診断（管路施設）		式	1					内-1号 W2
報告書作成		式	1					内-2号 W2
設計協議		式	1					内-3号 W2
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
旅費交通費		式	1					
旅費交通費		式	1					内-4号 W1, W2
直接原価		式	1					
その他原価		式	1					

設計内訳書

業務名	管路施設ストックマネジメント調査診断委託 簡易診断			当 初	業 種 項 目	設計業務 業務原価			
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
業務原価		式	1						
一般管理費等		式	1						
設計業務価格		式	1						
消費税相当額		式	1						
業務費計		式	1						

諸経費計算書

業務名

測量業務

項目	金額・率(%)
直接測量費	
非対象額	
管理費区分9(成果検定費等)	
対象額	
諸経費率	
諸経費(計算額)	
竣工平面図作成の対象額(労務費、直接人件費)	
竣工平面図作成の諸経費率	
竣工平面図作成の諸経費(計算値)	
調整額	
諸経費計上額	
調整業務計上額	
その他原価対象額(管理費区分A+B+D)	
その他原価の割合()	
その他原価計上額	
直接原価	
その他原価	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合()	
一般管理費等計上額	

地質調査業務

一般調査業務

項目	金額・率(%)
純調査費(直接調査費及び間接調査費)	
非対象額	
管理費区分9(諸経費の非対象)	
対象額	
諸経費率	
諸経費(計算額)	
調整額	
諸経費計上額	
調整業務計上額	
その他原価対象額(管理費区分A+B+D)	
その他原価の割合()	
その他原価計上額	
直接原価	
その他原価	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合()	
一般管理費等計上額	

諸経費計算書

(当 初)

業務名 2026年度 管路施設ストックマネジメント実証調査診断委託

地質調査業務
解析調査業務

項目	金額・率(%)
直接人件費	
その他原価の割合()	
その他原価計上額	
直接原価	
非対象額(-)	
管理費区分9・1(一般管理費等の非対象)	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合()	
一般管理費等(計算値)	
調整額	
一般管理費等計上額	

(直接経費)

設計業務 建設コンサルタント

項目	金額・率(%)
直接人件費	
その他原価の割合()	
その他原価計上額	
直接原価	
非対象額(-)	
管理費区分9・1(一般管理費等の非対象)	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合()	
一般管理費等(計算値)	
調整額	
一般管理費等計上額	

(直接経費)

一式当たり内訳書

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
第1号内訳書	カマ調査簡易診断 (管路施設)						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	20260706 20260706 1.000-00000020	
管路カマ調査(本管)の判定		km	0.8					WYB00001 管理費区分 無 単-1号	
目視調査(人孔、鉄蓋等、 公設柵)の判定		km	0.8					WYB00002 管理費区分 無 単-2号	
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

一式当たり内訳書

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
報告書作成		km	0.8					WYB00003 管理費区分 無 単-3号
合 計								

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

一式当たり内訳書

第3号内訳書	設計協議						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	20260706 20260706 1.000-00000020
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
設計協議 管路施設ストック クマネジメント	中間打合せ回数 = 1回 :	式	1					DGS30639 管理費区分 無 単-4号
合 計								

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

一式当たり内訳書

第4号内訳書	旅費交通費						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	20260706 20260706 1.000-00000020
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
設計(打合せ)協議に伴う 交通費(ライトバン使用)	片道距離区分 = 12.5km以上 30km未満: ライトバン台数 = 1台: ライトバンその他経費の計上(高速道路代等) = 計上しない: 離島における加算額 = 計上しない: 業務 = 下水道設計: 設計(W1・W2):	往復	3					DXD97390 管理費区分 無 単-5号
合 計								

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料(1)

単-1号

WYB00001

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	管路加圧調査(本管)の判定				単位	km	数量	1.5	単価
規格	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
	主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	0.5			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技師(A)	同上	人	1			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技師(B)	同上	人	2			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技師(C)	同上	人	1.9			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技術員	同上	人	1.8			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	計								
	単価								

参考資料(1)

単-2号

WYB00002

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	目視調査(人孔、鉄蓋等、公設柵)の判定				単位	km	数量	1.5	単価
規格	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
	技師(A)	割増対象賃金比 0.55	人	0.7			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技師(B)	同上	人	0.6			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技師(C)	同上	人	1.8			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	技術員	同上	人	1.9			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価		
	計								
	単価								

参考資料(1)

単-3号

WYB00003

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
報告書作成		km			1.5	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師 (A)	割増対象賃金比 0.55	人	0.6			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師 (B)	同上	人	0.6			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価
計						
単価						

参考資料(1)

単-4号

DGS30639

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称		式	数量	単価	金額	摘要
規格	1回					
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
設計協議 管路施設ストックマネジメント						
主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	3			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師(A)	同上	人	3			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師(B)	同上	人	1			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価
計						
単価						

参考資料(1)

単-5号

DXD97390

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	設計(打合せ)協議に伴う交通費(ライトバン使用)				往復			
規格	12.5km以上 30km未満 1台 計上しない 計上しない 下水道設計:設計(W1・W2)				単位		数量	1
	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ライトバン運転費	片道距離区分=12.5km以上 30km未満:ライトバン台数=1台:ライトバンその他経費の計上(高速道路代等)=計上しない:業務=下水道設計:設計(W1・W2):	往復	1			DXD97670 管理費区分 無 単-6号	
	計							
	単価							

参考資料(2)

単-6号

DXD97670

単価適用年月	20260706
歩掛適用年月	20260706
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ライトバン運転費				往復		単価	
規格	12.5km以上 30km未満 1台 計上しない 下水道設計：設計(W1・W2)				単位		数量	1
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
ガソリン	レギュラー スタンド渡し 無鉛 JIS K 2202 2号	L	2.4			Z006704001 管理費区分 無 刊行物単価		
ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動]	乗車定員 5名 排気量 1.5 L	時間	0.9			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価		
ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動]	同上	供用日	1			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価		
計								
単価								

